



# 教員をめざすあなたに

青山学院大学 卒業生  
教職員校友 白亜の会



青山学院校友会

AOYAMA GAKUIN ALUMNI ASSOCIATION

# 今日のテーマ

- I 採用試験について
- II 試験の準備について
- III 学習指導要領の考え方



# I 採用試験について

筆記試験  
面接試験  
実技試験(必要な科目)  
適性検査



# 令和7年度採用 1次試験(選考)日:7月7日(日)

## ・関東圏は同日試験

東京都、神奈川県、埼玉県、栃木県(含 7月6日)、  
群馬県、横浜市、川崎市...

## ひと 未来を育てる仕事 かながわで

### 県公立学校 教員募集

- 職種:小・中学校、高等学校および特別支援学校教諭、養護教諭
- 1次試験日:7月7日(日)
- 受験資格:全ての選考において、昭和39年4月2日以降に生まれた、受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有するか  
令和7年3月31日までに取得見込みの方(他に要件あり)
- 受付期間:4月17日(水)~5月9日(木)17時受信(郵送は5月2日(木)まで)
- 採用案内・実施要項:4月中旬からHPに掲載  
志願者を対象に説明会を行います。

詳しくはこちら▶



☎ 県教職員人事課 ☎ 045(210)8190



○面接試験:

令和6年8月17日(土曜日)、18日(日曜日)、  
19日(月曜日)

○実技試験: 令和6年8月25日(日曜日)

○最終合否発表: 令和6年9月30日(月曜日)

(東京都のHP参照)

## ◎選考方法や内容は自治体によって異なる

### ○筆記試験

- ・ 専門教養
- ・ 教職教養（教育原理、教育心理、  
教育法規、教育史など）
- ・ 一般教養（出題しない自治体もある）
- ・ （小）論文 など

## ○面接試験

- 個人面接
- 集団面接
- 集団討論
- 模擬授業
- 場面指導 など

## ○実技試験

- 音楽科
- 美術科
- 保健体育科
- 英語科
- 家庭科
- 小学校 など



## ○適性検査

- ・ 矢田部-ギルフォード性格検査  
(Y-G性格検査)
- ・ 内田-クレペリン性格検査
- ・ ミネソタ多面的性格目録(MMPI)

○採用試験の**情報**は各自治体（教育委員会）  
のHPが一番詳しい

例：**過去問**を公開している自治体もある

例：3年次に一次選考の**教職教養と専門  
教養**を受験可能 → 「選考通過者」

## Ⅱ 試験の準備について

大学の授業は理論を学ぶ  
試験対策は各自で準備  
する



- ・彼(かれ)を知り、己(おのれ)を知れば百戦  
殆(あや)うからず
  - ・彼を知らずして己を知れば、一勝一負す
  - ・彼を知らず己を知らざれば、戦う毎に必ず殆うし  
(中国の古い兵法書から)
- ※ 殆(あや)うい・・・危険である 見通しが暗い

# 過去の試験問題の公開について

カナガワ、かながわ、神奈川、kanagawa、採用試験問題、公開

過去の試験問題は、神奈川県庁新庁舎2階「県政情報センター」で閲覧できます。（注意）このページは“教員”採用試験の過去の試験問題についてのものです。

---

令和3・4・5年度実施試験の「一般教養・教職専門試験」と「教科専門試験」の「問題」と「正答」及び「配点」、「論文題」は、神奈川県庁新庁舎2階の県政情報センター行政資料コーナーで閲覧できます。

コピー機を設置しているため、必要な場合には、ご自身でコピー（実費）をしてください。

[行政資料コーナーご利用の案内](#)

神奈川県庁新庁舎の場所：[神奈川県庁案内図](#)

受付時間：午前8時30分から午後5時15分まで（土曜、日曜、祝祭日を除く）

令和5年度実施試験における論文題については、次のとおりです。

小学校	神奈川県では、個性や文化の違い、障がいの有無にかかわらず、多様な教育的ニーズに応え、児童一人ひとりを大切に育む教育を推進しています。このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。
中学校	神奈川県では、個性や文化の違い、障がいの有無にかかわらず、多様な教育的ニーズに応え、生徒一人ひとりを大切に育む教育を推進しています。このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。
高等学校	神奈川県では、個性や文化の違い、障がいの有無にかかわらず、多様な教育的ニーズに応え、生徒一人ひとりを大切に育む教育を推進しています。このような教育を推進するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。
特別支援学校	神奈川県では、児童・生徒等一人ひとりの発達段階等を十分に考慮した、きめ細やかな指導・支援の充実をめざしています。このような指導・支援を実践するために、あなたはどのような姿勢や意識をもつことが大切だと考えますか。また、そのことを踏まえ、どのような教育活動に取り組みますか。あなたの考えを600字以上825字以下で具体的に述べなさい。

## 教職教養

- [PDF](#) 問題 (PDF形式：1,363KB)
- [PDF](#) 正答・配点 (PDF形式：80KB)

## 専門教養

### 【問題】

- [PDF](#) 小学校全科 (PDF形式：3,558KB)
- [PDF](#) 小学校全科 (英語コース) (PDF形式：4,489KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 小学部 (PDF形式：3,260KB)
- [PDF](#) 中・高共通 国語 (PDF形式：4,187KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 中・高 国語 (PDF形式：2,834KB)
- [PDF](#) 中・高共通 地理歴史 (PDF形式：4,015KB)
- [PDF](#) 中・高共通 公民 (PDF形式：3,968KB)
- [PDF](#) 中・高共通 英語 (PDF形式：3,201KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 中・高 英語 (PDF形式：2,987KB)
- [PDF](#) 小・中共通 中・高共通 音楽 (PDF形式：2,789KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 音楽 (PDF形式：1,702KB)
- [PDF](#) 小・中共通 中・高共通 美術 (PDF形式：7,257KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 美術 (PDF形式：4,210KB)
- [PDF](#) 小・中・高共通 保健体育 (PDF形式：1,756KB)
- [PDF](#) 高等学校 工業 (PDF形式：2,771KB)
- [PDF](#) 高等学校 商業 (PDF形式：1,423KB)
- [PDF](#) 高等学校 情報 (PDF形式：1,285KB)
- [PDF](#) 養護教諭 (PDF形式：1,958KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 自立活動 (PDF形式：1,351KB)
- [PDF](#) 特別支援学校 理療 (PDF形式：1,325KB)
- [PDF](#) 高等学校 水産 (PDF形式：1,268KB)
- [PDF](#) 高等学校 福祉 (PDF形式：1,655KB)

(東京都のHP参照)

## Ⅲ 学習指導要領の考え方

### 【実施】

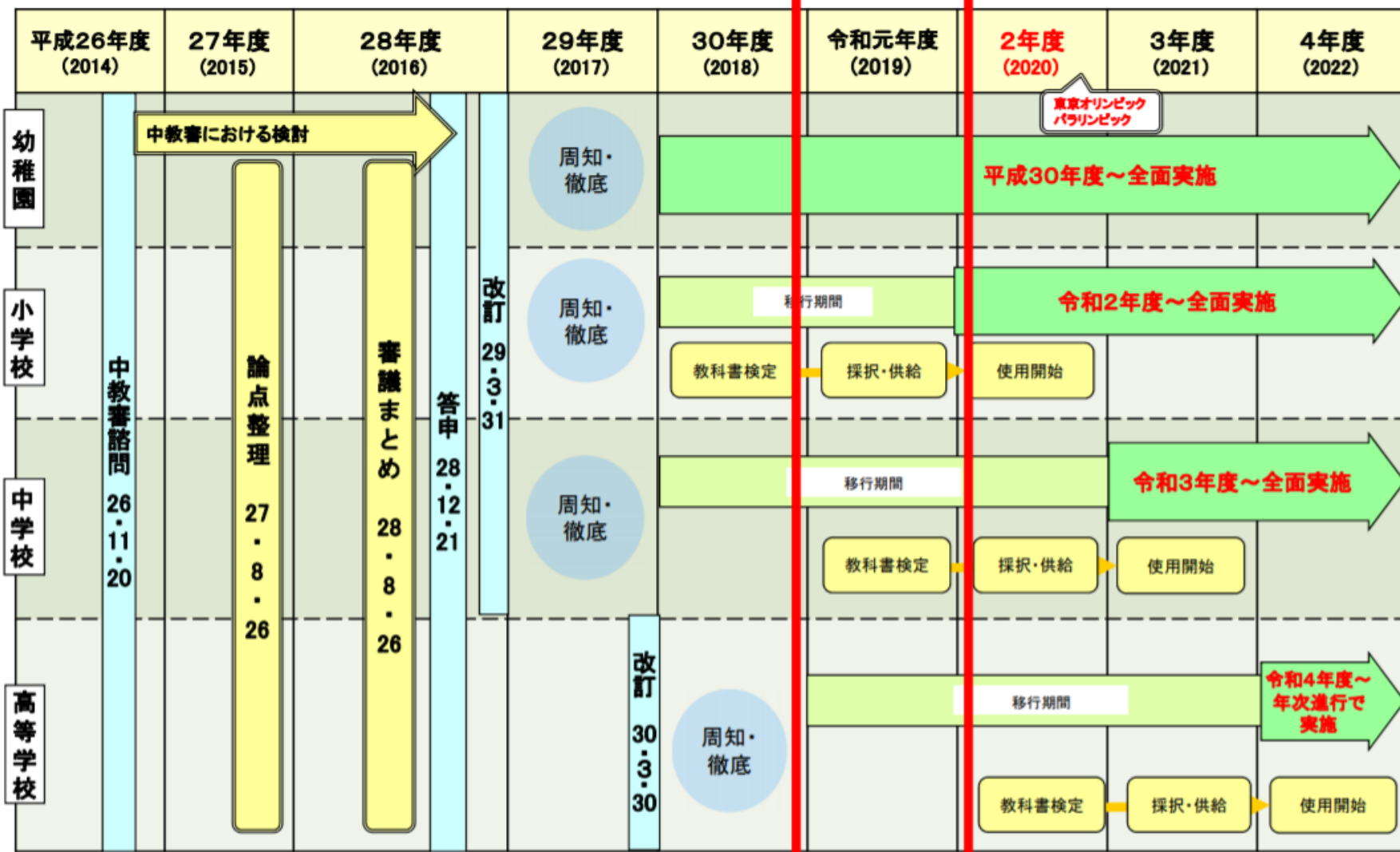
- ・ 小学校：R 2 年度
- ・ 中学校：R 3 年度
- ・ 高等学校：R 4 年度  
(年次進行)

※ 面接や (小) 論文等で問われることがある





# 今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール



東京オリンピック  
パラリンピック

令和元年6月10日  
教育審 報告会  
資料6

特別支援学校学習指導要領(幼稚園及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。  
特別支援学校学習指導要領(高等部)は、平成31年2月4日に改訂告示を公示。

◎これから話す内容（ここからレジュメの内容です）

- i 「何ができるようになるか」を明確化
- ii 教科・科目構成の見直し（「何を学ぶか」）
- iii 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（「どのように学ぶか」）
- iv -①社会に開かれた教育課程の実現  
-②カリキュラム・マネジメントの確立

# 学習指導要領改訂の考え方

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「**社会に開かれた教育課程**」の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の  
新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的  
に示す

**学習内容の削減は行わない**

どのように学ぶか

**主体的・対話的で深い学び**（「**アクティブ・  
ラーニング**」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求  
められる資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質  
の高い理解を図るための  
学習過程の質的改善

主体的な学び  
対話的な学び  
深い学び

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、  
そうした点を克服するため、重要用語の強調等を含めた見直し改革等を進める。

新しい学習指導要領の考え方 — 中央教育審議会における議論から改訂そして実施へ

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/\\_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716\\_1.pdf](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/_icsFiles/afieldfile/2017/09/28/1396716_1.pdf)

( i 何ができるようになるか )

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする  
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる  
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

○育成を目指す資質・能力の明確化

→ 全ての教科等の目標及び内容については、この3つの柱に基づく

- 学びを人生や社会に生かそうとする  
「**学びに向かう力、人間性等**」の涵養 (※)
- 生きて働く「**知識及び技能**」の習得
- 未知の状況にも対応できる  
「**思考力、判断力、表現力等**」の育成

※ 「**学びに向かう力、人間性等**」の涵養

授業の観点では「**主体的に学習に取り組む態度**」  
とする。

（平成 31 年「文部科学省初等中等教育局長通知」）

こうした力は「**生きる力**」をより具体化したもの

（『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 総則編』）3頁

#### 何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた  
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

#### (ii) 何を学ぶか)

#### ○小学校の外国語教育の教科化

- ・ 外国語活動、小学校外国語科

#### ○高等学校の教科・科目等の新設例

- ・ 歴史総合、世界史探究（世界史B）、日本史探究（日本史B）
- ・ 総合的な探究の時間（総合的な学習の時間）

(iii どのように学ぶか)

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

・「主体的な学び」

学ぶことに**興味や関心**を持ち、自己の**キャリア形成**の方向性と関連付けながら、毎時間**見通し**を持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って**次の学習**につなげる。

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成  
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善





#### ・「対話的な学び」

子供同士の**協働**、教職員や地域の人との**対話**、先哲の**考え方**（**読書**）を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考え方を広げ、深める。

#### ・「深い学び」

**習得・活用・探究**という学びの過程で、各教科等の特質に応じた**見方・考え方を働かせながら**、知識を**相互に関連付けて**より**深く理解**したり、**情報を精査して考えを形成**したり、**問題を見いだして解決策**を考えたり、**思いや考えを基に創造**したりする。

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、  
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

**「社会に開かれた教育課程」**の実現

各学校における**「カリキュラム・マネジメント」**の実現

#### (iv- ① **社会に開かれた教育課程**) の実現

○これからの学校には、**社会と連携・協働**した教育活動を充実させることが求められる。

- ・よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという**目標を学校と社会とが共有**する。

- これからの社会を創り出していく子供たちに必要な資質・能力が何かを明らかにし、それを学校教育で育成する。
- 地域と連携・協働しながら目指すべき学校教育を実現する。

例 コミュニティ・スクール(学校運営協議会を置く学校)

地域学校協働活動

#### (iv- ② カリキュラム・マネジメント) の確立

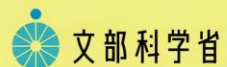
「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校教育に関わる様々な取組みを、教育課程（カリキュラム）を中心に据えながら、学校全体として、**教育内容や時間の適切な配分、必要な人的・物的体制の確保**や実施状況に基づく**改善**など教育活動の**質を向上**させ、**学習の効果の最大化**を図ることが必要とされている。

→ PDCAサイクルの考え方

中学校

学習指導要領(平成 29 年告示)

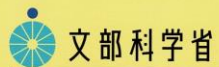
平成 29 年 3 月 告示



中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説

総則編

平成 29 年 7 月



中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説

特別活動編

平成 29 年 7 月



中学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説

美術編

平成 29 年 7 月



平成29・30・31年改訂学習指導要領(本文、解説)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/new-cs/1384661.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm)



走った距離は  
裏切らない

野口みずき

青山学院大学 卒業生  
教職員校友 白亜の会